

八王子市議会レポート

No.64 2014年10月15日



つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派
農業委員会委員

北野台在住

編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0913 八王子市北野台4-16-2

TEL 042-636-8631 FAX 042-636-8640

3期目 活動中!

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>

2014年第3回定例議会・決算特別委員会報告

陣内やすこの決算代表質疑(社民ネット自治の会)

2012年度決算は、市税収入が前年比5000万円落ち込み、年金も引き下がる中、こういった市民生活の向上のために、施策が図られたのか、と問うものです。市税収入は減少ですが、その反面、株式譲渡配当金や配当割交付金は大きく膨らみ、八王子でも確実に格差が広がってきているのです。

市の借金総額減少が大きく進みません。その一方で、貯金を殖やし、市民生活が圧迫されています。少しでも、市民生活、特に子育てや高齢介護、障がい者施策などのソフト面の充実が急がれます。また、教育費の額も改善されていません。相変わらず、国の教育にかかるナショナルミニマムは、中学校費において、達成されていません。

学校図書館サポーターのための予算は、それなりに国の算定になっているのですが、その半分も使われていません。10年後に借金をどれだけ減らすのか、明確にお答えください。

市長・・・目標は定めることはできない。将来負担比率ゼロに向けて、全力で取り組む。

子どもたちへの予算、どこに使われているのですか、子どもの貧困への学校の対応と、しっかりと教育費を確保して、子どもへの個別サポートの充実をベースに学びの保障に取り組んでいただきたい。

教育長・・・計画主導型の予算。前年度と同様規模で、優先順位をつけて積極的に確保していく。

少子高齢・人口減少という社会構造の変化の中で、企業を呼び込み、地域活性化を図る攻めのまちづくりを推進と市長はいうが、本当に八王子は選ばれる自治体なのか。いきいき企業支援条例は、大企業支援に偏り、市内勤労者の賃金アップに貢献していない。本当にいま、必要な施策か。大企業にお金を配るのではなく、既存産業のさらなる活性化、若年雇用や障がい者雇用の促進、ひとり親家庭の就労支援など、社会問題解決につながる産業振興施策に力を入れるべきではないか。また、平和行政への見解を。

市長・・・企業誘致は地域活性化に効果あり。

継続していく。総合的な施策展開をは図っていく。集团的自衛権行使容認の閣議決定については、国会で十分議論し、説明責任を果たしてほしい。

やすこのひとり言

開発はいらない。地産地消でソフトの充実を。



◇戦争への道を許さない仲間たちと一緒に◇

第3回定例議会 陣内やすこの一般質問から

■介護保険の要支援外しにどう対応するのか。

陣内：来年4月から介護保険の要支援1、2の人たちのうち、約4000人余りの人たちが使っているホームヘルプサービスと通所サービスが、地域総合支援事業に移行となる。どのように準備しているのか。

答：来年4月からの移行を目指す。はじめは、これまで通りの事業者をお願いする。3年間での移行完了とするので、NPOやボランティアなど地域の社会資源などの活用を考えている。

陣内：利用者の自己決定・納得の上での契約は守られるのか。ケアプランはつくられるのか。

答：十分ケアマネージャーなどと相談して、決めていくことには、かわりはない。

お金が発生しないので、今までの苦情処理システムはなくなる。

陣内：使える財源は、利用伸び率に比例していない。財源不足になることは目に見えている。

どうするのか？

答：国から明確に示されていない。



介護予防事業は一般財源で行うもので、介護保険財源からの支出をやめるべき。何を介護保険でやる事業なのか、精査する必要がある。認定を受けた人と受けていない人を一緒に事業で行うという矛盾をどう整理するのか。認定外しにつながる。答弁を聞いていても、市として、どういった介護保険サービスを充実させるのか、の答えは出てこない。不安だけが広がる。利用者の自己決定を尊重すべき。NPOやボランティア活用というが、どこにその人材があるのか、また、認定した市の責任をどう果たすのか。私たちは介護保険を払っている当事者であり、認定を受けた人は、市の責任で認定した人です。声を出していこう。

2013年度八王子の介護保険制度の概要

| | |
|--------------------|-------------|
| 八王子市の高齢化率 | 21.5% |
| 65歳以上75歳未満人口 | 73,628人 |
| 75歳以上人口 | 57,577人 |
| 認定者数 | 23,310人 |
| 介護保険に関する相談・苦情 | 7,257件 |
| 介護保険料(12段階)基準額(年額) | 58,800円 |
| 地域包括支援センター | 市内15か所 |
| *国の指針では、中学校区に1か所 | |
| 施設サービス利用者 | 特養施設 1,785人 |
| | 老健施設 858人 |
| | 療養型施設 585人 |

■生活困窮者自立支援法について

陣内：実施主体、取組み事業の詳細は？

答：市が直営でやる。新たな部署を立ち上げる。相談事業は委託も検討。総合相談、就労支援、学習支援などを活用。

陣内：対象者の把握をどうするのか？

答：庁内の各部署からの相談を集める。

体制はまだできていない。相談事業など、ワンストップでの対応を要望。

■化学物質に囲まれている生活

農薬規制に対する農水省・環境省の通知では、あらたな化学物質過敏症の方が近隣にいる場合には、十分配慮するようになっている。しっかりとした広報をしてほしい。また、柔軟剤などで、においの被害を受けている人が多いことから対策を要望。

■空家の利活用についても、質問しました。

映画上映会（八王子手をつなぐ女性の会主催）

「少女は自転車にのって」サウジアラビア映画

10月23日(木) 18時10分開場 18時30分開演

八王子学園都市センター・イベントホール

(東急スクエア12F) ¥1000

編集後記*集団的自衛権容認の閣議決定が、多くの国民の反対の声を無視して、7月1日に行われました。戦争は、この今、実際に起こっています。そして、そんな戦争に日本も加担していく道が開かれてしまったのです。『花子とアン』で、白蓮が「もし女たちに政治が任されていたら、子どもたちを戦場に送らなかつた」といっていました。女性議員を！来年4月には八王子市議会議員の選挙があります(や)